

## 展覧会情報

### 洛中洛外図屏風に描かれた世界

会場 群馬県立歴史博物館  
電話027-346-5522

期間 3月5日(土)～4月10日(日)

### 資料紹介展「鉄道沿線～光と陰～」

会場 岐阜県図書館  
電話0575-28-3111

期間 3月8日(火)～4月10日(日)

### 地図展 in おおた

会場 大田区産業プラザPiO  
電話03-3733-6600

期間 3月10日(木)～12日(土)

### シュテデル美術館所蔵 フェルメール《地理学者》とオランダ・フランドル絵画展

会場 Bunkamura ザ・ミュージアム

電話 03-5777-8600

期間 3月3日(木)～  
5月22日(日)

注：地理や地図の展覧会ではありません。フェルメールの傑作「地理学者」が日本初公開されます。



## 巡検開催のご案内

### ■ 平成23年春の巡検

#### ○「人形のふるさと岩槻巡検」

ご案内：伊藤 等先生(日本大学)

開催日：平成23年4月9日(土) 10:00

集合：東武野田線岩槻駅東口改札口外

定員他：20名(参加締切は4月1日(金))

参加費：1,000円(資料代含む)

ルート：岩槻駅～お人形歴史館東久(見学・予定)～郷土資料館(見学)～昼食～時の鐘(見学)～岩槻城址公園～鈴木酒造酒蔵資料館(見学・予定)～岩槻藩遷喬館(見学)～岩槻駅・解散(15:30頃)

岩槻(現さいたま市岩槻区)は太田道灌が関八州の北の砦としてこの地に岩槻城(別名白鶴城)を築いてから、奥州、北陸道に通ずる江戸近隣の城下町として栄えたまちです。

城下町として、また宿場町として賑わった岩槻には、日



岩槻城址公園

光東照宮の造営、修築にあたった工匠たちが、そのまま足をとどめ、人形づくりをはじめました。岩槻周辺は昔から桐の産地で箆箆や下駄などの桐細工が盛んでした。工匠は、この桐と水が適しているということで人形づくりがおこり、現在に至っています。

申込み：電話 03-3262-1486 Fax. 03-3234-0872  
mail chizujoho@coral.bforth.comのいずれか

## mini地図NEWS

国土地理院は、北方領土の地形図を88年ぶりに作成、今月から販売を始めた。新たに作られた地形図は北方領土のうち、国後島南部と歯舞群島の計13面。ロシア支配下で建設された建物も表示されているが、「泊村」

や「<sup>いちびしなほ</sup>一菱内湖」などの日本語地名は、そのまま表記してある。欄外には「北方領土問題に関する我が国の立場にいかなる影響も与えるものではない」と、これまでの地形図にはない注記が付されている。これらは2006年に打ち上げられた観測衛星「だいち」による画像データなどを基に作成された。(読売新聞 12月22日)

## 地図 絡 み

### 第44回 村の境界線省略図

帝京大学理事 井口悦男

ある地理の講座をとっていた教え子が、嘆息まがいに訴えてきた。明治はじめ頃の人口密度を、ゼミの課題にしようと、当時の図にあたってみたところ、なんと各村の面積が分からないことに気づいたと言うのである。人口数は出ているのに、その密度を割り出す基準となる境界線がしめされていないことを残念がった。そう言われて、関東地方の平野域をほぼ蔽う、日本最初の実測図群である、2万分1の「第一軍管地方迅速測図」群の図にあると、ナルホド、多くの村々の名称が注記されているが、その間に境界線記号は入れられていないのである。市内電車網がはりめぐらされていたとき、街中で空を見上げると、電車の架線をはじめその支持鉄線が、くもの巣状に目に入り邪魔であった。現在、空を見上げるとき、張られた線は消え、直接すっきりした天に接しられる。これと似た、道路を表わす横線網や等高線に重なり、交わる境界線の煩雑さから解放された白っぽい、すっきりした図面の特色

は、ほかでもない、村々の境界線無記入にあった。

改めて、「二万分一迅速測図記号」にあると、境界線は国内について、「軍管区界」をはじめとして、「国界(旧国)」「県界」そして「郡界」までで、例外的に「区界」(東京の15区など)があげられるに止まる。

考えれば、幕末から維新直後の村々は、その後統合をくり返し、町村にまとめられる。したがって、ごく狭い範囲に限られた「村域」で、統合後の「大字」が該当する。旧村の面積は、大字の境界を記入した大縮尺(5千分1前後)各地域図であたれば可能であり、2万分1程度に入ると線の重なりがわずらわしいわりに、面積は大略表示に止まろう。そのこともあったためと思えるが、明治22年の市町村制成立直前に、改め消去される部分の多い境界線の描入を、その煩雑さを勘案し、かつ図の早期成立のため、小区画の境界線省略に踏みきったと見る。

最初にあげた、3つの境界線(県界まで)は、たしかに迅速測図で識別しやすいが、これが「郡界」「区界」では、よくよく注目しないと判別しにくい細点線となる。この上に細かい点線表現となる位置の「村界」が入るとすれば、虫めがねを必要とするような線描となったことであろう。

(11.2.10)



「下谷区」2万分1 明治13年測図 23年再版 陸地測量部 (大日本測量コピー図による、80%縮小)。